

平成 18～21 年度用 中学校「美術」

# 年間指導計画案例

(二期制・三学期制)

第 1～3 学年

## 目 次

p. 1	年間指導計画の作成について
p. 2～5	第 1 学年の年間指導計画案例 (二期制・三学期制)
p. 6	第 2 学年の年間指導計画案例 (二期制・三学期制)
p. 7	第 3 学年の年間指導計画案例 (二期制・三学期制)

H18～21 年度用 中学校教授資料

発行者の 番号・略称	文部科学省検定済 教科書の記号・番号	
116 日文	1年	美術 711
	2・3年上	美術 811
	2・3年下	美術 812

日本文教出版

# 年間指導計画の作成について

## ◎年間指導計画作成上の留意点

- 年間指導計画案を作成するに当たって、留意したいことは以下のとおりです。
- ・学習指導要領における中学校美術の「目標」及び「内容」について理解を深める。
  - ・地域や学校の特色、中学校の実態等を把握し、その上で計画案を立案する。
  - ・教科書の内容や題材をよく検討し、学習指導要領の「指導計画の作成と内容の取扱い」に配慮する。
  - ・個々の生徒が、その特性や持ち味を生かしながら意欲的に学習活動に参加できる、魅力と教育意義に富んだ指導計画案を作成する。

## ◎二期制（二学期制）と三学期制

教育環境を取り巻く大きな流れとして、三学期制から二期制への移行があります。各学年、各学期の評価・評定に対して、十分な学習活動とその見取りのための時間の確保が困難であるという状況が問題として挙げられています。そのような状況を踏まえ、二期制が一つの有効な手段として実施され始めています。しかし、これまで三学期制で行われてきた中学校の指導計画を二期制に切り替えるに当たっては、まだまだ検討しなければならない課題も多くあります。そこで、ここでは年間指導計画を、二期制、三学期制の両方掲載することとしました。

## ◎各学校における年間指導計画作成上の留意点

日本の中学校美術科教科書は、見開き2頁（折込みは3頁）ごとに一つの題材を掲載しています。それぞれの題材は、学校や地域、生徒の実態、指導のねらい等々に応じて多様な取扱いができるように、様々な要素によって構成しました。したがって、一つの題材から幾通りもの展開が可能ですが、年間指導計画案を例示するに当たっては、教科書の題材名をそのまま使用しています。

題材の具体化の過程において、先生方の創意や工夫が大いに発揮され、学校や地域、生徒の実態、指導のねらい、評価計画等に即した、より優れた指導計画が作成されることを願っています。

## ◎日文・中学校「美術」の年間指導計画案例

### ■年間指導計画案の作成に際しての基本的な前提

- (1) 第1学年については、2時間続きの授業時間を確保するために、前期に週2時間を10回〔第1案〕、後期に週2時間を10回〔第2案〕設定する場合、また、年間授業時数を通年して平均化する場合〔第3案〕、の三つの配当例を想定しました。また、各学年の指導計画案それぞれに、年間を通した指導上の課題を「A案」と「B案」の2種類想定しました。特に1、2年生の「B案」は、題材の配列に変化をつけ、多様性を生かしたカリキュラムとしました。また、3年生の「B案」は、独創的な表現力や鑑賞の能力に重点を置き、表現や鑑賞の題材の配列に変化をつけたカリキュラムとなっています。各学校の実状に合わせて時数を配当してください。その場合はそれぞれのカリキュラムを組み合わせるなど、題材を入れ替えることも可能です。単に時間割編成上の都合というだけではなく、美術科の特性を十分に考慮し、生徒の学習効果がより高

まる方法を工夫するとともに、系統的な指導と評価の計画立案が重要となります。  
(2) 年間及び各学期、前後期の週数、及び各学年の授業時数（1hは1単位時間を表します。）

### ・二期制の場合

#### 【第1学年】

	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計	
	週数	前期18週						後期17週						35週
前後期に区分	〔第1案〕 前期10週 2h 他の週 1h	28時間						17時間						45時間
	〔第2案〕 後期10週 2h 他の週 1h	18時間						27時間						45時間
通年平均	週数	18週						17週						35週
	〔第3案〕 通年均等 (週約1.3h)	23時間						22時間						45時間

#### 【第2・3学年】

通年	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計
	週数	18週						17週					
時間	18時間						17時間						35時間

### ・三学期制の場合

#### 【第1学年】

	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計		
	週数	前期18週						後期17週						35週	
前後期に区分	〔第1案〕 前期10週 2h 他の週 1h	21時間						15時間						9時間	45時間
	〔第2案〕 後期10週 2h 他の週 1h	13時間						18時間						14時間	45時間
通年平均	週数	13週						13週						9週	35週
	〔第3案〕 通年均等 (週約1.3h)	16時間						17時間						12時間	45時間

#### 【第2・3学年】

通年	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計	
	週数	13週						13週						9週
時間	13時間						13時間						9時間	35時間

月	学期	ねらい	〔第1案〕 前期に週2時間を10回設定した場合			〔第2案〕 後期に週2時間を10回設定した場合			〔第3案〕 年間授業時数を通年して平均化した場合		
			分野	題材名	時間	分野	題材名	時間	分野	題材名	時間
4	前期	感じ取る心を育てる	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1
			創	つくり出す喜び	3	創	つくり出す喜び	3	絵・彫	スケッチの楽しみ	2
5			創	色との出会い	4	創	色との出会い	4	創	つくり出す喜び	3
			絵・彫	スケッチの楽しみ	4	デ・工	自然の形や色を生かして	4	創	色との出会い	4
6			絵・彫	見て、感じて	4				絵・彫	心に残る情景	4
7			デ・工	自然の形や色を生かして	4	鑑	見ることと描くこと	1	絵・彫	見て、感じて	4
			鑑	絵本は小さな美術館	2	絵・彫	立体に表す楽しみ	4	鑑	絵本は小さな美術館	1
9			デ・工	土と炎の出会い	6	鑑	生活とデザイン	1	デ・工	土と炎の出会い	4
10											
			後期	コミュニケーションを考える	デ・工	遊び心のかたち	4	デ・工	文字を生かしたデザイン	4	鑑
11	デ・工	文字を生かしたデザイン			4	デ・工	動く絵の楽しさ	6	デ・工	動く絵の楽しさ	4
	絵・彫	心に残る情景			4	絵・彫	版のよさを生かして	6	絵・彫	立体に表す楽しみ	5
12						デ・工	土と炎の出会い	6	デ・工	遊び心のかたち	4
1	絵・彫	立体に表す楽しみ			4	絵・彫	心に残る情景	4	絵・彫	想像の世界へ	3
2	鑑	のこされた造形			1	鑑	のこされた造形	1	デ・工	文字を生かしたデザイン	4
3									鑑	生活とデザイン	1

\* 絵・彫→絵・彫刻など デ・工→デザイン・工芸など 鑑→鑑賞 オ→オリエンテーション 分野を横断した題材として 創→創造へのとびら 複→複合的な題材 を示しています。  
 \* 表紙・裏表紙は、各案ともオリエンテーションまたは関連する題材の時間内に適宜扱うものとしています。

月	学期	ねらい	〔第1案〕 前期に週2時間を10回設定した場合			〔第2案〕 後期に週2時間を10回設定した場合			〔第3案〕 年間授業時数を通年して平均化した場合		
			分野	題材名	時間	分野	題材名	時間	分野	題材名	時間
4	前期	感じ取ることから表現へ	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1
			創	つくり出す喜び	2	絵・彫	スケッチの楽しみ	3	絵・彫	スケッチの楽しみ	3
			鑑	見ることと描くこと	1	絵・彫	想像の世界へ	4	創	色との出会い	4
			絵・彫	見て、感じて	6						
			デ・工	土と炎の出会い	6	デ・工	動く絵の楽しさ	4	絵・彫	想像の世界へ	6
			絵・彫	想像の世界へ	4	鑑	見ることと描くこと	1	鑑	見ることと描くこと	1
5	前期	感じ取ることから表現へ	絵・彫	見て、感じて	6	絵・彫	想像の世界へ	4	絵・彫	想像の世界へ	6
			デ・工	遊び心のかたち	4	鑑	見ることと描くこと	1	鑑	見ることと描くこと	1
			絵・彫	心に残る情景	4	絵・彫	立体に表す楽しみ	5	絵・彫	見て、感じて	4
6	後期	創造的な力を大切に	創	色との出会い	4	創	つくり出す喜び	4	鑑	絵本は小さな美術館	1
			絵・彫	版のよさを生かして	6	デ・工	遊び心のかたち	4	絵・彫	版のよさを生かして	4
			鑑	絵本は小さな美術館	1	絵・彫	見て、感じて	6	デ・工	遊び心のかたち	4
			デ・工	動く絵の楽しさ	4	鑑	版のよさを生かして	6	デ・工	土と炎の出会い	4
7	後期	創造的な力を大切に	鑑	絵本は小さな美術館	1	鑑	絵本は小さな美術館	1	絵・彫	立体に表す楽しみ	4
			デ・工	動く絵の楽しさ	4	デ・工	文字を生かしたデザイン	4	鑑	のこされた造形	1
			鑑	のこされた造形	1	鑑	生活とデザイン	1	鑑	のこされた造形	1
9	後期	創造的な力を大切に	鑑	生活とデザイン	1	鑑	生活とデザイン	1			
10	後期	創造的な力を大切に									
11	後期	創造的な力を大切に									
12	後期	創造的な力を大切に									

\* 絵・彫→絵・彫刻など デ・工→デザイン・工芸など 鑑→鑑賞 オ→オリエンテーション 分野を横断した題材として 創→創造へのとびら 複→複合的な題材 を示しています。  
 \* 表紙・裏表紙は、各案ともオリエンテーションまたは関連する題材の時間内に適宜扱うものとしています。

月	学期	ねらい	〔第1案〕 前期に週2時間を10回設定した場合			〔第2案〕 後期に週2時間を10回設定した場合			〔第3案〕 年間授業時数を通年して平均化した場合		
			分野	題材名	時間	分野	題材名	時間	分野	題材名	時間
4	1学期	感じ取る心を育てる	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1
			絵・彫	スケッチの楽しみ	3	創	つくり出す喜び	2	絵・彫	スケッチの楽しみ	3
			絵・彫	見て、感じて	6	創	色との出会い	4	創	つくり出す喜び	3
			デ・工	自然の形や色を生かして	4	絵・彫	見て、感じて	6	創	色との出会い	4
絵・彫	想像の世界へ	6	デ・工	土と炎の出会い	4						
7			鑑	生活とデザイン	1				鑑	絵本は小さな美術館	1
9	2学期	表現する楽しさ	絵・彫	立体に表す楽しみ	4	絵・彫	スケッチの楽しみ	2	鑑	生活とデザイン	1
デ・工			遊び心のかたち	4	デ・工	遊び心のかたち	4	デ・工	文字を生かしたデザイン	4	
絵・彫			心に残る情景	4	絵・彫	版のよさを生かして	6	絵・彫	立体に表す楽しみ	6	
創			色との出会い	3	デ・工	土と炎の出会い	6	鑑	見ることと描くこと	1	
12								絵・彫	版のよさを生かして	5	
1	3学期	伝え方の工夫	鑑	絵本は小さな美術館	2	鑑	のこされた造形	1	絵・彫	心に残る情景	4
デ・工			動く絵の楽しさ	5	デ・工	文字を生かしたデザイン	3	デ・工	動く絵の楽しさ	4	
絵・彫			想像の世界へ	4	絵・彫	想像の世界へ	4	絵・彫	見て、感じて	4	
2			鑑	見ることと描くこと	1	絵・彫	立体に表す楽しみ	5			
3			鑑	のこされた造形	1	鑑	生活とデザイン	1			

\* 絵・彫→絵・彫刻など デ・工→デザイン・工芸など 鑑→鑑賞 オ→オリエンテーション 分野を横断した題材として 創→創造へのとびら 複→複合的な題材 を示しています。

\* 表紙・裏表紙は、各案ともオリエンテーションまたは関連する題材の時間内に適宜扱うものとしています。

月	学期	ねらい	〔第1案〕 前期に週2時間を10回設定した場合			〔第2案〕 後期に週2時間を10回設定した場合			〔第3案〕 年間授業時数を通年して平均化した場合		
			分野	題材名	時間	分野	題材名	時間	分野	題材名	時間
4	1学期	感じる心を大切に	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1	オ	澄んだ目と心で	1
5			創	つくり出す喜び	4	絵・彫	スケッチの楽しみ	4	創	色との出会い	3
6			創	色との出会い	3	絵・彫	立体に表す楽しみ	6	デ・工	土と炎の出会い	4
7			デ・工	遊び心のかたち	4				絵・彫	見て、感じて	4
9	2学期	表現の幅を広げる	鑑	絵本は小さな美術館	1	鑑	見ることと描くこと	2	絵・彫	立体に表す楽しみ	4
10			デ・工	動く絵の楽しさ	4	デ・工	自然の形や色を生かして	4	デ・工	自然の形や色を生かして	4
11			絵・彫	版のよさを生かして	6	鑑	生活とデザイン	1	絵・彫	スケッチの楽しみ	2
12			鑑	生活とデザイン	1	絵・彫	見て、感じて	4	鑑	絵本は小さな美術館	1
1	3学期	伝えることを通して	デ・工	自然の形や色を生かして	4	絵・彫	心に残る情景	4	絵・彫	版のよさを生かして	5
2			鑑	見ることと描くこと	1	絵・彫	版のよさを生かして	5	デ・工	遊び心のかたち	5
3			絵・彫	心に残る情景	4	鑑	絵本は小さな美術館	1	絵・彫	想像の世界へ	6
			創	つくり出す喜び	4	創	色との出会い	2	絵・彫	心に残る情景	5
			デ・工	文字を生かしたデザイン	4	デ・工	文字を生かしたデザイン	4	鑑	のこされた造形	1

\* 絵・彫→絵・彫刻など デ・工→デザイン・工芸など 鑑→鑑賞 オ→オリエンテーション 分野を横断した題材として 創→創造へのとびら 複→複合的な題材 を示しています。  
 \* 表紙・裏表紙は、各案ともオリエンテーションまたは関連する題材の時間内に適宜扱うものとしています。

	二期制の場合 A案				二期制の場合 B案				三学期制の場合 A案				三学期制の場合 B案																				
	ねらい	分野	題材名	時間	ねらい	分野	題材名	時間	ねらい	分野	題材名	時間	ねらい	分野	題材名	時間																	
4	表現の可能性を見つめて	才 絵彫	自然の恵みと造形 新鮮な見方で	1 3	才 絵彫	自然の恵みと造形 楽しく効果的に表そう	1 3	才 絵彫	表現の可能性	自然の恵みと造形 多様な表現を求めて	1 4	表現の広がりを感じて	才 絵彫	自然の恵みと造形 息づく空間	1 4																		
5		絵彫	息づく空間	4	絵彫	息づく空間	4	絵彫		身近な人を見つめて	4		デ工	光の表現・光の演出	4																		
6		絵彫	多様な表現を求めて	4	デ工	光の表現・光の演出	5	複		映像表現の広がり	4		絵彫	楽しく効果的に表そう	4																		
7		鑑 デ工	イメージを届けるデザイン 伝えよう大切なこと	1 5	鑑 絵彫	北斎と遠近法 身近な人を見つめて	1 4	新鮮な視点で		鑑 絵彫	イメージを届けるデザイン 超現実的な世界		1 6	アイデアを生かして	絵彫	新鮮な見方で	4																
9		伝統や社会を見つめて	鑑 絵彫 デ工	日本絵画の造形美 楽しく効果的に表そう だれもが快適なデザイン 手づくりの楽しみ		1 4 4	多様な表現を感じて		鑑 デ工 絵彫 鑑 絵彫	現代に生きる伝統 — 工芸の美 — 手づくりの楽しみ 新鮮な見方で	1 4 4	デ工 鑑	光の表現・光の演出 現代に生きる伝統 — 工芸の美 —		5 1	多様な表現を工夫して	鑑 デ工	多様な表現を工夫して	絵彫 複	だれもが快適なデザイン 北斎と遠近法	4 1												
10	1				1			1						1								1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
11	4				4			4						4								4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
12	4				4			4						4								4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1	デ工	手づくりの楽しみ	4	鑑 絵彫	もう一つの目 超現実的な世界	1 6	デ工 絵彫	伝えよう大切なこと 楽しく効果的に表そう	4 4	多様な表現を工夫して	複	映像表現の広がり	2	鑑	もう一つの目	1																	
2	複	映像表現の広がり	4	鑑	日本の美術と世界	1	鑑	日本の美術と世界	1	多様な表現を工夫して	複	映像表現の広がり	2	鑑	もう一つの目	1																	
3																	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			

\* 絵・彫→絵・彫刻など デ・工→デザイン・工芸など 鑑→鑑賞 オ→オリエンテーション 分野を横断した題材として 創→創造へのとびら 複→複合的な題材 を示しています。

\* 表紙・裏表紙は、各案ともオリエンテーションまたは関連する題材の時間内に適宜扱うものとしています。

	二期制の場合 A案				二期制の場合 B案				三学期制の場合 A案				三学期制の場合 B案			
	ねらい	分野	題材名	時間	ねらい	分野	題材名	時間	ねらい	分野	題材名	時間	ねらい	分野	題材名	時間
4 5 6 7 9 10	表現の可能性を感じて	才	自然との共生	1	人間の内面を見つめて	才	自然との共生	1	人間の内面に目を向けて	才	自然との共生	1	創造する喜び	才	自然との共生	1
		鑑	色彩の輝き	1		絵彫	主張する美術	5		絵彫	環境と響き合う造形	4		絵彫	流れる時をとらえて	5
		デ	見え方の不思議	4		デ	学校や地域への発信	6		デ	暮らしや生活を彩る	4		デ	学校や地域への発信	4
		彫	気持ちの形・思いの色	6		鑑	木との対話	1		鑑	主張する美術	4		鑑	木との対話	1
		鑑	展示に託されたメッセージ	1		鑑	人間と自然への賛歌	1		鑑	アジアの多様な美術	2		鑑	展示に託されたメッセージ	1
		鑑	アジアの多様な美術	1		絵彫	流れる時をとらえて	4		絵彫	自分らしさを見つけて	6		絵彫	色彩の輝き	1
		デ	暮らしや生活を彩る	4		デ	環境と響き合う造形	4		デ	自分らしさを見つけて	6		デ	人間と自然への賛歌	1
		デ	自分らしさを見つけて	4		デ	紙の造形	4		デ	見え方の不思議	4		デ	主張する美術	4
		デ	エコデザイン	4		複	共同制作の魅力	7		複	色彩の輝き	1		複	エコデザイン	4
11 12 1 2 3	独創的な表現を求めて	鑑	人間と自然への賛歌	1	美術で行うコミュニケーション	複	共同制作の魅力	7	創造の大切さ	鑑	色彩の輝き	1	美術の可能性を生かして	デ	紙の造形	4
		デ	学校や地域への発信	7		鑑	アジアの多様な美術	1		絵彫	気持ちの形・思いの色	4		複	共同制作の魅力	7
		鑑	時代を映す美術	1		鑑	時代を映す美術	1		デ	学校や地域への発信	4		鑑	アジアの多様な美術	1
		鑑	時代を映す美術	1		鑑	時代を映す美術	1		鑑	時代を映す美術	1		鑑	時代を映す美術	1

\* 絵・彫→絵・彫刻など    デ・エ→デザイン・工芸など    鑑→鑑賞    オ→オリエンテーション    分野を横断した題材として    創→創造へのとびら    複→複合的な題材    を示しています。  
 \* 表紙・裏表紙は、各案ともオリエンテーションまたは関連する題材の時間内に適宜扱うものとしています。